



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4323 URL http://www.jast.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 アナリスト向け

百万円未満切捨て

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,226	12.0	24	△29.8	37	△29.9	8	△80.0
28年3月期第2四半期	5,558	2.5	34	△55.7	53	△52.9	42	△30.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △16百万円（-％） 28年3月期第2四半期 5百万円（△88.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.61	—
28年3月期第2四半期	8.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	9,471	5,294	55.5	1,001.25
28年3月期	9,019	5,448	59.8	1,028.31

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,254百万円 28年3月期 5,396百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,120	11.0	600	49.4	610	38.3	355	21.6	67.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	5,612,230株	28年3月期	5,612,230株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	364,210株	28年3月期	364,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	5,248,020株	28年3月期2Q	5,248,020株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
5. 補足情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、売上高62億26百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益24百万円(前年同期比29.8%減)、経常利益37百万円(前年同期比29.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円(前年同期比80.0%減)と、前年同期と比較して増収減益となったものの、当初計画を上回る結果となりました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)につきましては、製造業及び医療機関向け案件等が前年より減収傾向で推移したものの、サービス・流通業、金融・保険・証券業、官公庁及び通信業向け案件がそれぞれ増収となり、売上高45億1百万円(前年同期比16.7%増)、営業利益1億22百万円(前年同期は営業損失20百万円)の増収増益となりました。

次に、パッケージ事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、仕入販売、運用サービス及び保守サービスが前年を上回った一方で、EUC(End User Computing:パッケージの周辺システムの受託開発)、導入支援及び大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売といった収益性の高い案件項目が減収となり、売上高8億87百万円(前年同期比14.4%減)、営業損失45百万円(前年同期は営業利益1億22百万円)の減収減益となりました。

次に、システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、大学向け機器販売は減収となりましたが、公共系SI(システム・インテグレーション)案件の増収により、売上高5億4百万円(前年同期比16.5%増)、営業損失8百万円(前年同期は営業損失23百万円)となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、レセプト自動点検サービスに加え、点検業者向けクラウドサービス、分析・医療費通知サービス及びデータヘルス計画支援サービス等のサービス拡充により、売上高は堅調に推移いたしました。将来の成長を見越した組織増強に伴うコスト増の先行により、売上高3億33百万円(前年同期比43.2%増)、営業損失43百万円(前年同期は営業損失42百万円)となりました。

(当社グループの四半期業績の特性)

当社グループの事業であるソフトウェア、パッケージ及びシステム販売の特性といたしましては、顧客の検収時期が多く企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は70億35百万円(前連結会計年度末比4億38百万円増)となりました。これは主として売掛金の回収、前受金の増加並びに短期借入の実行により現金及び預金が増加したためであります。また、固定資産の残高は24億35百万円(同12百万円増)となりました。

次に、流動負債の残高は27億60百万円(同4億95百万円増)となりました。これは主として前受金の増加並びに短期借入の実行によるものであります。また、固定負債の残高は14億16百万円(同1億10百万円増)となりました。これは主として長期借入の実行及び退職給付に係る負債の増加によるものであります。

最後に、純資産の合計残高は52億94百万円(同1億54百万円減)となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高14億47百万円より9億5百万円増加し、23億53百万円(前第2四半期連結累計期間末残高は24億90百万円)となりました。なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、7億47百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は6億60百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが86百万円増加した要因は、主として売上債権の回収にかかる収入が増加した一方で、たな卸資産にかかる支出が増加したこと等によるものであります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、35百万円の収入(同31百万円の支出)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが66百万円増加した要因は、定期預金の解約による収入が増加したこと等によるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億25百万円の収入(同3億0百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが1億74百万円減少した要因は、主として短期借入の実行額の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調を維持しておりますが、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の下振れや、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性が高まり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計(経済産業省、特定サービス産業動態統計8月確報)において、平成27年度の売上高前年度比が1.5%増(平成26年度の売上高前年度比は3.0%増)とプラス傾向を継続している中、単月で見ると平成28年8月度の売上高前年度同月比が3ヶ月ぶりに増加に転じる等、回復力はまだまだ脆弱であると認識しております。

このような状況の中、当社グループでは、年度スローガンのキーワードとして「目標必達の考・動習慣を確立しよう」を掲げ、開発業務、営業戦略、内部管理等の全てにおいて原点・基本・初心に立ち戻り、部門・個人の目標必達のために「考えて実際に行動する」ことを習慣付けることで、受託開発型ビジネスの受注量増加及び収益性向上と、自社ブランド製品を核とする当社主導型ビジネスの一層の拡大を伴った継続的成長を目指してまいります。

これらを踏まえ、平成29年3月期の連結業績予想は、平成28年5月12日発表のとおり、売上高131億20百万円(前連結会計年度比11.0%増)、営業利益6億円(同49.4%増)、経常利益6億10百万円(同38.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億55百万円(同21.6%増)の増収増益を見込んでおります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社アイエスアールの株式を取得したことにより、同社を新たに連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,436,624	3,319,143
受取手形及び売掛金	3,436,003	2,672,489
商品及び製品	78,434	89,408
仕掛品	326,978	599,469
原材料及び貯蔵品	2,692	2,043
繰延税金資産	191,764	212,976
その他	129,132	142,471
貸倒引当金	△4,139	△2,048
流動資産合計	6,597,491	7,035,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	616,203	667,697
減価償却累計額	△310,047	△331,727
建物及び構築物(純額)	306,156	335,970
土地	142,361	142,361
その他	284,375	294,284
減価償却累計額	△208,302	△212,958
その他(純額)	76,072	81,326
有形固定資産合計	524,591	559,657
無形固定資産		
のれん	10,001	49,020
ソフトウェア	120,195	104,189
その他	7,189	7,626
無形固定資産合計	137,385	160,836
投資その他の資産		
投資有価証券	564,136	571,478
退職給付に係る資産	447,426	455,827
繰延税金資産	65,580	89,000
差入保証金	376,493	382,070
その他	351,708	261,448
貸倒引当金	△45,119	△45,119
投資その他の資産合計	1,760,225	1,714,707
固定資産合計	2,422,202	2,435,201
資産合計	9,019,694	9,471,156

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,911	818,498
短期借入金	—	269,692
1年内返済予定の長期借入金	—	8,400
未払法人税等	104,706	69,801
賞与引当金	419,637	489,373
役員賞与引当金	20,935	13,381
工事損失引当金	6,079	—
その他	805,784	1,090,962
流動負債合計	2,265,055	2,760,110
固定負債		
長期借入金	—	32,200
役員退職慰労引当金	372,585	398,355
退職給付に係る負債	800,914	832,129
その他	132,686	154,195
固定負債合計	1,306,186	1,416,880
負債合計	3,571,242	4,176,990
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,076,669	1,076,669
資本剰余金	998,790	994,621
利益剰余金	3,460,641	3,337,877
自己株式	△266,539	△266,539
株主資本合計	5,269,562	5,142,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,966	48,178
為替換算調整勘定	△14,352	△17,311
退職給付に係る調整累計額	90,400	81,088
その他の包括利益累計額合計	127,013	111,955
非支配株主持分	51,875	39,581
純資産合計	5,448,452	5,294,165
負債純資産合計	9,019,694	9,471,156



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,558,484	6,226,979
売上原価	4,440,969	5,043,395
売上総利益	1,117,515	1,183,583
販売費及び一般管理費	1,082,517	1,159,009
営業利益	34,997	24,573
営業外収益		
受取利息	3,327	3,189
受取配当金	3,069	2,988
受取賃貸料	6,907	7,018
助成金収入	250	4,220
その他	11,278	11,677
営業外収益合計	24,833	29,094
営業外費用		
支払利息	789	580
為替差損	—	5,425
賃貸費用	4,565	8,697
その他	584	1,206
営業外費用合計	5,939	15,909
経常利益	53,891	37,758
税金等調整前四半期純利益	53,891	37,758
法人税等	31,316	33,490
四半期純利益	22,575	4,268
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,648	△4,168
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,224	8,436

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	22,575	4,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,302	△2,788
為替換算調整勘定	△125	△9,012
退職給付に係る調整額	△15,770	△9,311
その他の包括利益合計	△17,198	△21,111
四半期包括利益	5,377	△16,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,748	△6,621
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,371	△10,222

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	53,891	37,758
減価償却費	38,435	35,266
ソフトウェア償却費	18,758	18,786
のれん償却額	10,928	6,264
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,137	65,606
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,634	32,704
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8,889	△8,401
受取利息及び受取配当金	△6,397	△6,178
支払利息	789	580
売上債権の増減額(△は増加)	526,102	797,069
前受金の増減額(△は減少)	377,365	413,321
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66,749	△281,157
仕入債務の増減額(△は減少)	△171,500	△117,258
その他	△98,804	△154,848
小計	729,702	839,515
利息及び配当金の受取額	7,939	6,919
利息の支払額	△755	△697
法人税等の支払額	△76,663	△98,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	660,222	747,171
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	6,843	114,337
有形固定資産の取得による支出	△10,042	△46,264
ソフトウェアの取得による支出	△21,849	△3,375
投資有価証券の取得による支出	△1,135	△900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△26,827
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の払込による支出	△2,007	—
差入保証金の差入による支出	△1,100	△564
差入保証金の回収による収入	294	583
その他	△2,100	△1,242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,097	35,746
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	493,954	269,692
リース債務の返済による支出	△11,157	△10,250
長期借入れによる収入	—	42,000
長期借入金の返済による支出	△1,200	△43,835
配当金の支払額	△131,200	△131,200
非支配株主への配当金の支払額	△2,324	△1,164
連結の範囲の変更を伴わない関係会社出資金の払込による支出	△48,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	300,072	125,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,293	△2,358
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	930,491	905,801
現金及び現金同等物の期首残高	1,559,743	1,447,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,490,235	2,353,295

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	3,856,134	1,036,262	433,141	232,947	5,558,484	—	5,558,484
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,727	—	7,387	—	53,115	△53,115	—
計	3,901,861	1,036,262	440,528	232,947	5,611,599	△53,115	5,558,484
セグメント利益 又は損失(△)	△20,916	122,376	△23,255	△42,877	35,327	△329	34,997

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	4,501,166	887,474	504,706	333,631	6,226,979	—	6,226,979
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,062	—	42,540	—	83,602	△83,602	—
計	4,542,229	887,474	547,246	333,631	6,310,582	△83,602	6,226,979
セグメント利益 又は損失(△)	122,775	△45,416	△8,886	△43,176	25,297	△723	24,573

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、第1四半期連結会計期間に株式会社アイエスアールの株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は45,284千円であります。

## 5. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	3,829,957	114.0
パッケージ事業 (千円)	545,373	89.8
システム販売事業 (千円)	414,837	130.0
医療ビッグデータ事業 (千円)	253,228	162.5
合計 (千円)	5,043,395	113.6

(注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	5,664,713	131.7	2,709,187	158.3
パッケージ事業 (千円)	1,130,595	103.9	917,746	139.8
システム販売事業 (千円)	404,194	92.3	275,530	128.3
医療ビッグデータ事業 (千円)	311,003	104.5	661,412	241.2
合計 (千円)	7,510,507	122.7	4,563,876	159.7

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	4,501,166	116.7
パッケージ事業 (千円)	887,474	85.6
システム販売事業 (千円)	504,706	116.5
医療ビッグデータ事業 (千円)	333,631	143.2
合計 (千円)	6,226,979	112.0

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱	701,120	12.6	663,074	10.6
T I S ㈱	271,707	4.9	435,739	7.0
㈱ダスキン	261,922	4.7	307,698	4.9

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。